

大名行列が行き交った京街道
偉人を輩出した弘道の森
かつての出石城内を歩く

裏路地探険

歴史をたどる路地／出石町

江戸時代、1042畳にも及ぶ93の部屋があったと言われる出石城三の丸の対面所跡、出石町役場前の広場から京街道へと向かう。最初のチェックポイントは出石城東門跡、ここまでは城の敷地内で一般町民は入ることができなかった所。一步踏み出すと京街道、京都までは120キロの道のり、江戸へ向かう参勤交代の大名行列が行き、幕末には桂小五郎が出石の江戸勘助に導かれて京から逃げ延びてきたという道だ。道の両側には、軒が触れ合うような聲の波、うなぎの寝床とも言われる間口が狭く奥行きが長い町家が続く。白亜と土の壁・千本格子などの施し、歴史的な町並みが残る。

さらに京街道を上ると沙羅双樹の花でも有名な経王寺につきあたる。出石の町は神社や寺院が多い。各街道や辻に、外部からの侵入を防ぎ、砦の役割を果たすために建立されたといわれている。経王寺も高櫓や、塀には弓矢や鉄砲で敵を討つ矢狭間が設けられている寺の一つだ。京街道から谷山川を渡り、弘道の森と呼ばれる路地へ入る。出石は年間100万人が訪れ賑わう観光地、出石城跡・大きな時計台の辰鼓楼・家老屋敷など名所史跡が多いが、弘道の森はあまり観光客も入り込まない穴場的スポットだ。

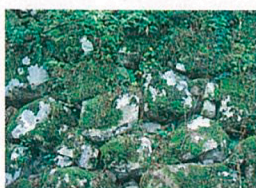
町中から谷山川を隔てただけで、人の手が増えられず、そのまま静かに時が流れてきたような閑静さがある。畑や草木

内町～弘道の森～城山公園

かつての出石城内、対面所があった三の丸跡の内町から京街道、江戸時代創設された弘道館跡の弘道の森、城山公園へ。谷山川を挟んだわずかな距離にもいしえからの歴史が刻まれている。

出石城山公園
春は桜、秋は紅葉が美しい。

軍国主義と戦う政党内閣の政敵 齋藤隆夫の碑
文字は元・吉田茂首相によるもの。元・竹下登首相も出石に訪れた時立ち寄り見入ったというもの。



出石城跡の苔むした石垣



登城門から太鼓橋へ

登城門

谷山河川公園
川辺で水に親しめるように整備されている。

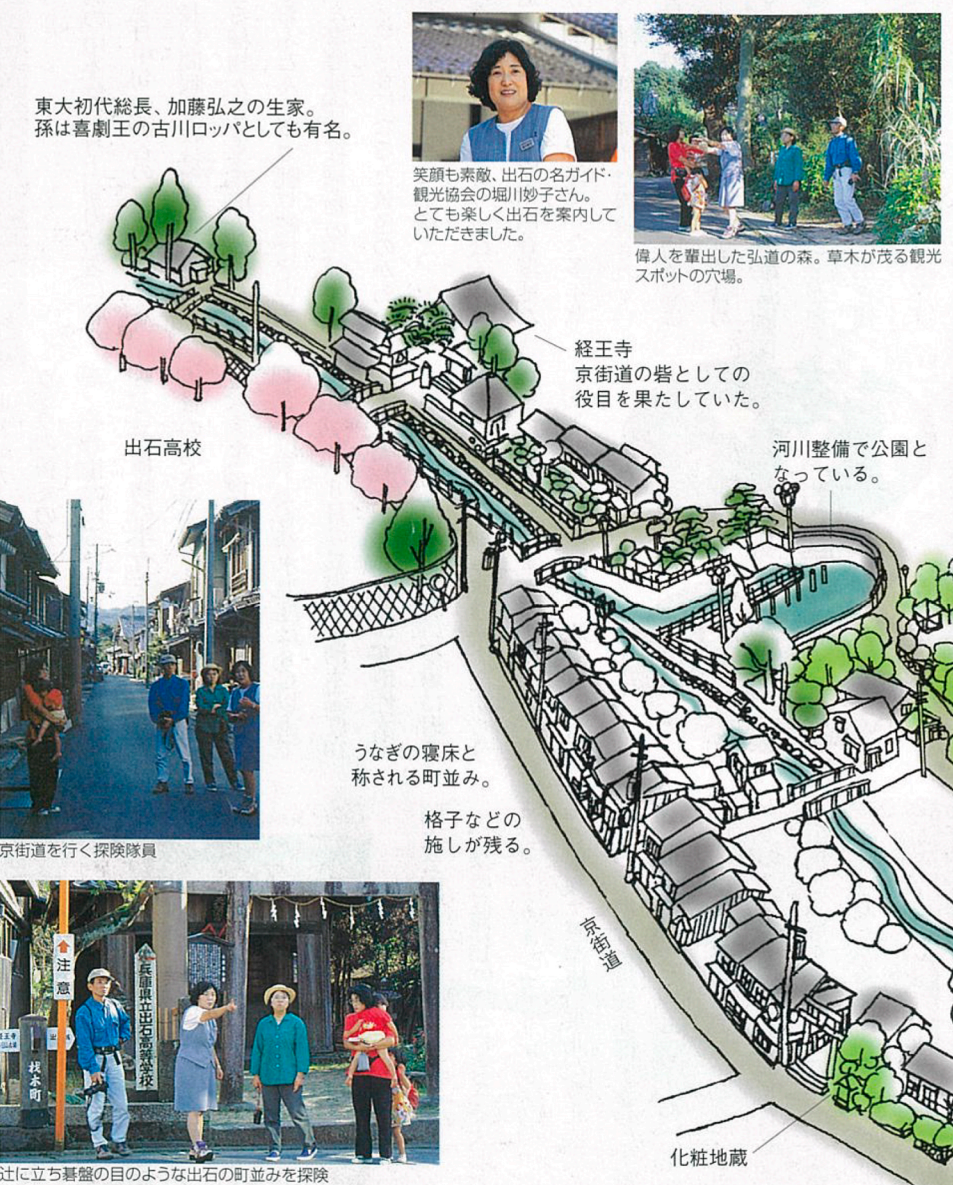
太鼓橋

石垣
小さな石が見事に積み上げられている。水はけが良いとされている。

川下神社
女性の神様。祠の前には、髪の毛が吊されている。

出石城東門跡
一步向こうは京街道手前は、出石城内。昔、内堀があり、船が入り魚などが荷下ろしされていた。

出石町役場
役場前広場、三の丸対面所跡江戸時代1042畳、93の部屋があったとされる。



笑顔も素敵、出石の名ガイド・観光協会の堀川妙子さん。とても楽しく出石を案内していただきました。



偉人を輩出した弘道の森。草木が茂る観光スポットの穴場。

経王寺
京街道の砦としての役目を果たしていた。

河川整備で公園となっている。

うなぎの寝床と称される町並み。

格子などの施しが残る。



京街道を行く探険隊員



辻に立ち替盤の目のような出石の町並みを探険



化粧地藏



さまざまな表情を持つ格子

の歴史を知りながら歩くと興味深い散策ができる。

出石の歴史は、天日槍の神話にはじまり、室町時代、但馬の守護としてその拠点を出石に置き、全国の六分の一を治めるほどの栄耀栄華を誇った山名氏、織田信長の命により羽柴(豊臣)秀吉により攻め入れられた戦乱の時代、碁盤の目のような町並みを築いた小出氏、さらに松平・仙石氏へと歴代城主を経て、五万八千石の城下町として、但馬の中心として栄えてきた。その歴史はそれぞれ数奇なつながりを持つ。古い町並みを伝承する町に秘められた歴史をたどると時間をさかのぼる不思議な世界へ迷い込むようだ。

協力：出石町観光協会・出石町

●裏路地探険隊員募集

4月3日(土)和田山町探険
竹田城の麓、寺町通りと呼ばれる竹田地区を歩く

*実施日の10日前までに、18ページ掲載のT2編集部へ住所・氏名・年齢・電話番号を記入の上、ハガキでお申し込みください。

が茂るのどかな景色、ひっそりと佇むのは弘道館の石碑。弘道館は、1775年(安永4年)藩主仙石政辰が開設したもので、水戸の弘道館よりも63年早い創設、出石藩が熱心な学問奨励を行っていたことが伺える。幕末から維新にかけて新しい時代を担う数々の偉人を輩出した。

の進講役として欧米の政体制度やドイツ語の講義を行い、初代東京大学の総長となった加藤弘之、天気予報の創始者、桜井勉などが挙げられる。また、後に桜井勉を慕って上京した齋藤隆夫は、衆議院議員となり太平洋戦争中にあって、国会で肅軍演説を行った政界人としても有名だ。さらに進むと諸杉神社へと抜